



出水高校だより

第二十三号

令和三年十二月十日

白珪尚可磨



茶道部

今回は、出水高校茶道部を特集します。

茶道部は、十二月八日(水)に校内茶会(クリスマス茶会)を催しました。当日は、

部員の保護者の皆様方や、

受験を控える三年生部員を

招き、呈茶(ていちゃ)をしました。

茶道部の皆さんは、「白珪(はつけい)

尚磨(なま)くべし。」「(これ以上磨

きようもないくらい完全無

欠な玉であっても、さらに

磨き続けようとする努力が

大切である」という意味の

精神を大切にして、日々活

動しています。

それでは、一人ひとりの

メッセージを紹介します。

ゆっくりご覧ください。

できることを考えて

部長 牧原優花さん



牧原優花さん

茶道部は、顧問の本藏先

生と藤田先生、外部講師の

岡田先生のご指導のもと、

二年生六人、一年生一人で

お稽古(けいこ)に励んでいます。

新型コロナウイルス感染

症の影響で、予定されてい

たお茶会が中止になるな

ど、思うような活動ができ

なくなっています。

ですが、和気藹々(わきあたたか)とした

雰囲気の中、今、自分たち

にできることを考えながら

活動しています。

「白珪尚可磨」という言葉にしたがって、これからもお稽古に励んでいきたいと思えます。



部員の皆さん

溝上誠也(一年)

部活に入ったときは、茶道について何も知らず不安でした。

しかし、優しい先輩たちや、本藏先生、岡田先生のご指導のおかげで、少しずつ

お点前(てまへ)を覚えることができるようになりました。

これからも上達できるようにがんばります。





池崎颯人(二年)

私は、最初の頃、入部するのをためらっていました。というのも、当時、部員が女子しかいなかったのです。

ですが、その心配も杞憂に終わりました。先輩たちは実に優しく接してくれました。

日常に刺激がほしい人は、ぜひ茶道部に入部してください。

江川絢乃(二年)

私は最初茶道部に興味はありませんでした。

しかし、仲の良い友だちが入部したことをきっかけに茶道に興味をもちました。

体験入部に行ったときに新しいことに冒険してみたいと思い、入部することをきめました。

今では、日々楽しみながら練習し、充実した時間を送っています。



江尻志保(二年)

私は、一年生の九月に茶道部に入部しました。

茶道部では、お点前をとおして、礼儀だけではなく、

作法など、様々なことを学べたり、身につけることができると思います。

これからも、おもてなしの心を忘れずに茶道をがんばりたいです。

堂脇茜李(二年)

私は、友だちからの誘いをきっかけに茶道部に入部しました。

茶道は、お点前を習うことができるだけでなく、お茶についての知識や礼儀作法を学べるのも魅力の一つです。

この記事をとおして、茶道をより多くの人に知って



もらえたらうれしいです。



松下芽生(二年)

私は、最初に茶道部に入ったときには何も分からず大変でした。

でも今は、部員全員で協力しながら楽しく活動することができています。

次のお茶会に向けて、日々努力していきたいと思えます。



茶道部の皆さんの取材を

とおして、出水高校は、体

育系の部活動だけではなく、

文化系の部活動も意欲的に

がんばっていることがよく

分かりました。

「出水高校だより」では、

これからもいろいろな部を

紹介していきます。



出水高校生の活躍は、

インスタグラムでも公

開中です。「出水高校」

で検索してください。